







# 「色とサイズ」で読む 子どもの心理早見シート

黒ばかり・小さく描く・端っこに描く…気になる絵の読み解き方













子どもの絵は「気持ちのメモ」のようなもの。

すぐに良い・悪いを決めるのではなく、「今どんな気持ちかな?」と見るヒントとして使ってみてください

## Part A 使う色で読む心理 早見表

色	よく使うときの心理傾向	声かけのヒント
 黒	強さ・かっこよさへの憧れ/ 気持ちを整理したい時/集中している時	 「この黒は何を描いたの?」 と意味を聞いてみる
 茶色	安心したい/落ち着いた世界を描いている/ 自然や身近なものが好き	 「木かな?土かな?」と 世界観に寄り添う
 青	静かに考えている/落ち着きたい/ 空や水のイメージが好き	 無理に話させず、 一緒に眺める時間を作る
 赤	元気いっぱい/気持ちが強く動いている/ エネルギーが高い	 「楽しかったことあった?」 と出来事を聞く
 白 (塗らない)	想像を残している/まだ途中/ 色をつける気分ではない	 「ここは何色のイメージ?」 と聞いてみる
 カラフル すぎる	想像が豊か/表現したい気持ちが大きい/ 楽しさ全開	 「たくさん色使ったね!」と まず認める
 同じ色 ばかり	今その色に強く惹かれている時期/ ブームの場合も	 心配より先に“好き”として 受け止める

## Part B 描き方・配置で読む心理 早見表

描き方のパターン	考えられる心理	対応のヒント
 小さく描く	丁寧・慎重/ 自信をためている途中	 「細かく描いたね」と 努力を見つける
 紙の端に描く	余白を残したい/ 世界を広く使っている	 「ここから続きある?」と 広げてみる
 ぎゅうぎゅうに描く	描きたい気持ちがいっぱい/ 伝えたいことが多い	 大きい紙を渡してみる
 大きく描く	自信・エネルギー・ 表現欲が強い	 のびのび描ける 時間を増やす
 描くのをやめる	疲れた/気分が乗らない/ 満足した	 無理に続けさせず 休憩を大切に
 同じものを 何度も描く	興味が深い/ 気持ちを整理している	 「好きなんだね」と 繰り返しを尊重する

### 色や大きさだけで判断しないために

子どもの絵は、その日の気分・好きなもの・流行でも大きく変わります。  
「黒だから不安」「小さいから自信がない」と決めつけず、  
前後の様子や会話も一緒に見る ことが大切です。



もっと詳しく知りたい方は **note** の完全版へ ▶

**[URL]**

「怖い絵」「黒ばかり」「家族を小さく描く」など、事例つきでやさしく解説しています。